

# 令和７年度春休み　訪問看護版インターンシップニュースレター　Vol.11

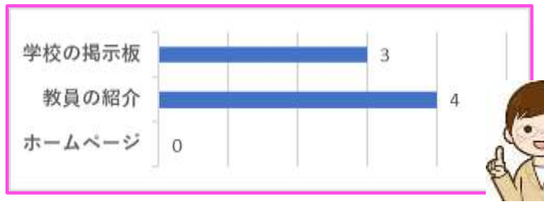


2026.4 発行

訪問看護版インターンシップ事業が始まって６年が経過し、夏休みと春休みの恒例行事として定着しつつありますが、今年の春は寒暖差が大きく、二人の学生が体調を崩して、急遽中止となり６人が４事業所で実施しました。訪問看護ステーションの皆さんには丁寧に指導していただき、学生は普段とは違う充実した経験ができました。

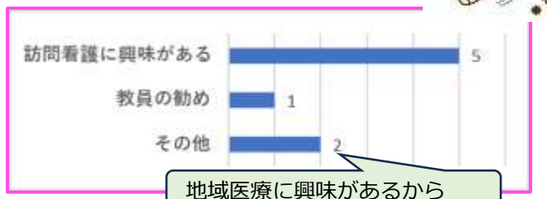


## 1　インターンシップはどこで知りましたか

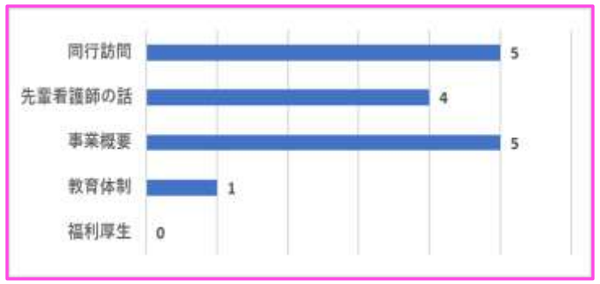





## 2　参加の動機




## 3　インターンシップのどんなところに興味がありますか




## 4　インターンシップは満足しましたか

⇒6 人全員が満足と回答

### こんなところがよかった

- 担当の看護師さんが利用者の症例やそれに至る過程、要因を丁寧に教えてくれ、学びになった。
- 具体的な仕事の様子や訪問看護が大切にしていることを知ったり、見学できた。併設する施設の見学もできた。
- 緊急時の対応や、訪問時の移動手段について知れた。
- 同行訪問により、訪問看護について詳しく知れた。
- 訪問看護の実際を知ることができた。車の中で利用者と看護師の話を聞き、会話を引き出すための術が学べた。
- 利用者や家族とのコミュニケーションを見て学ぶことができた。

## 5　訪問看護ステーションへの就職について








## 管理者のご意見・感想

♡1 年生で疾患や在宅の知識のない学生さん達でした。病院で働くイメージはありますが、在宅での介護や看護の役割を少しでも感じて欲しいと思いながら同行訪問をしました。未来の看護師さん、頑張って！活躍を期待しています。

♡インターンシップは訪問看護という分野に興味をもってもらえるよいきっかけになると思います。

♡学生の頃から色々なサービスに触れるのはとても良い機会だと思います。

♡実習に訪問看護の項目がないので、参加したとのことでした。病院へ就職する上でも、在宅医療の視点を持つことは重要です。訪問看護も就職先の選択肢の一つになれば嬉しいです。



## 学生の感想

◎利用者さんと接するには、病状だけでなく、その人の生い立ちや価値観を知る必要があると実感した。「その人らしさ」を実現するために、それを知り柔軟に対応したい。

◎訪問看護師の仕事内容を見学し、詳しく知ることができ勉強になった。就職活動や実習に活かしていきたい。

◎同行訪問により、利用者との関わり方や会話の様子が見学できて勉強になった。駐車場の有無によって訪問時の車の停める場所について疑問だったことがわかってよかった。

◎利用者さんの自宅にあがり、色々な状況、状態について知ることができた。一人で行動するとなったら、考えて行動する必要があり、責任を伴う仕事だと思った。

◎訪問看護で働くことのきっかけを知ることができ、就職先を選ぶ上での視野を広げることができた。患者さんはもちろん、ご家族の話に寄り添うことが大切だとわかった。

◎病院の実習では学べない経験ができた。看護師さんがとても丁寧に教えてくださり楽しむことができた。

## インターンシップに参加した学生さんに聞きました❣





近年、入学後の早い時期から在宅看護に興味をもつ学生が増えています。
また、１回の経験ではなく、２回、３回と繰り返し参加したり、１シーズンに、複数の事業所を経験する学生もいます。今回は、春休みにインターンシップに参加した学生３人に、訪問看護に対する思いを聞きました。

Ｍさん　看護学校３年生

### Q：在宅看護に関心をもったきっかけやインターンシップ参加の動機を教えてください



Ｓさん　大学１年生



Ｋさん　大学１年生

Ｋ：高校生の時、看護師について調べていて訪問看護という分野を見つけました。患者と一番近くで関わり、長期的な目で患者と関われる訪問看護に興味をもちました。

Ｓ：友人に誘われたことです。もともと病院以外の看護にも興味があり、実際の現場を見てみたいと思いインターンシップに参加しました。

Ｍ：友人の影響を受けたことに加え、学校の授業で訪問看護について学び、興味をもったことがきっかけです。

### Q：同行訪問の感想を聞かせてください

Ｍ：利用者さん一人ひとりと丁寧にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていることが分かりました。利用者さんの課題に対して、日常生活に寄り添った支援を行っている点が印象的でした。

Ｋ：利用者一人ひとりで生活環境や周囲の支援状況が異なるため、対応の難しさがあると感じました。一方で看護師同士が利用者の情報を共有しあい、特定の人に負担が偏らないようにしていることから安心して働ける環境だと感じました。

Ｓ：看護師は様々な視点で対象者を観察していると思いました。訪問に同行した際、看護だけでなく、対象者の生活環境や家族の様子、地域との関わりまで把握されていることが印象的でした。



### Q：病院看護と違うと感じたことがありますか

Ｓ：訪問看護は生活により密着した看護であると感じました。限られた環境の中で、その人らしい生活を支えるためにアドバイスされている場面を見て訪問看護ならではなのかな、と思いました。

Ｋ：訪問を一人で行うため責任が大きいと感じました。また、多職種と利用者さんの懸け橋になっている印象がありました。

Ｍ：訪問看護は利用者さんの自宅というプライベートな空間に入るため、病院看護以上に丁寧な対応やマナーを守ることが重要であると感じました。

### Q：訪問看護に就職したい気持ちがありますか。就職するとしたらどのくらいの時期を考えていますか

Ｍ：今回の経験を通して、将来は訪問看護に携わりたいと感じました。そのためにも、まずは病院で経験を積み、知識や技術を身につけた上で訪問看護に関わりたいと考えています。

Ｓ：訪問看護をしてみたいと思っています。まずは大きな病院で基礎的な知識や技術を身につけて応用ができるようになってから働いてみたいです。

Ｋ：病院に数年勤務し、経験を積んでから訪問看護に就職したいです。

### Q：就職先を選ぶ際、重視する点は何ですか

Ｍ：自分が希望する分野で経験を積める環境であることを重視したいと考えています。

Ｋ：人間関係や職場の雰囲気です。

Ｓ：人間関係の良さを特に重視したいです。





**アンケートにご協力いただいた学生の皆さん、ありがとうございました。**
**多くの訪問看護師さんが誕生する日が楽しみです。**
**次回のインターンシップは夏休みです。たくさんの方の参加をお待ちしています❣**

(公社)広島県看護協会